

「定休日でリフレッシュ！」

—我が家のノリづくり—

三角町漁業協同組合大岳支所 山口純子

1 地域の概要

私の住む熊本県宇土郡三角町は、九州本土と天草諸島を結ぶ宇土半島の先端に位置し、古くから熊本における海の玄関口として栄えてきました。

三角町は大部分が丘陵地帯で、ミカンや洋ランを中心とした農業が営まれています。

一方、海に目を向けると、明治初期にオランダ人技師によって建造された石造りの三角西港と周辺の町並みが公園として整備されています。また、三角東港にはフェリー発着場である海のピラミッドがあり、一際目立つ存在となっています。この新旧2つの港は、海の町「三角」のシンボルとなっています。(図1)

2 漁業の概要

私の所属する三角町漁協は、平成13年6月に三角漁協、大岳漁協が合併して設立しました。平成13年度末現在で、正組合員297名、准組合員234名、計531名となっています。

主な漁業種類としては、旧三角漁協地区では、一本釣り、エビ流し網、磯建網、イカカゴ、羽瀬網、採貝などとなっています。

一方、私の住んでいる町の東部に位置する旧大岳漁協地区では、干潟を有する不知火海の浅海域を利用して、採貝やノリ養殖業が営まれています。

平成13年度三角町漁協のノリ生産量は、1748万枚、生産額は1億7千万円です。

3 実践活動課題選定の動機

〔生い立ち〕

私は鹿児島県大口市という海には全く面していない田園地帯に育ちました。短大卒業後、小学校の栄養士として働きました。毎月給料が振り込まれ、労働時間・休暇などがきちんと決まっていて、そういう意味では恵まれた日々でした。

ある時ラジオ放送でキリスト教を知り、信仰を持つようになりました。1年後、栄養士を辞め、キリスト教関係の出版の仕事に就きましたが、その時に主人と出会い結婚しました。今年で結婚16年目を迎えました。

今まで私は、ノリづくりで特別なことは何もしていないと思っていました。しかし、他のノリ養殖業者から見るとびっくりされるようなことをしているようなので、それを今回発表することにしました。(図2)

4 実践活動の状況及び成果

〔ノリ養殖で苦しかったこと〕

私が実際にノリの仕事を始めたのは、結婚してから6年たった時でした。ノリの仕事は長時間労働ですから、肉体労働の経験のない私にとっては非常につらいものでした。海に出はじめて間もない頃には、海での仕事を終えて港に帰る途中に、船から溺れそうになったことがありました。その時は主人がぎりぎりのところで私に手を差し伸べてくれ、事なきを得ましたが、他にも突風にあおられたり、霧で方向感覚を失ったこともありました。こういう怖い思いをする度になぜこんな所に来たんだろうと、度々後悔しました。(図3)

〔収量増加の努力〕

次に我が家のノリ経営についてお話ししたいと思います。私が嫁いできた頃は張り込み枚数も現在の約半分で、ノリの収益だけでは、一年間の生活ができませんでした。それに対して、有明海のノリ養殖業者は1軒で数千万円も水揚げがあると聞きました。私たちに夢のような数字でした。大きな有明海に比べて狭い不知火海では、栄養塩の量も限られているし、収量も少なく水揚げも上がらないのだろうと半ば諦めていました。(図4)

その頃、それまで使っていた半自動ノリ乾燥機の調子が悪く、どうにかしないといけないと思っていた時、たまたま程度の良い中古の全自動ノリ乾燥機が手に入りました。今振り返ってみると、我が家のノリ経営が上向いていく為の大切な第一歩だったように思います。全自動に換えたことによって、機械にかかっていた労力を海の手入れにまわすことができるようになりました。その後はノリ摘採船を導入したり、支柱も竹から順次コンポースに変えたり、少しずつノリ網の枚数を増やしていきました。機械化にともない、我が家の経営状態はさらに上向いてきました。最近では2人で先進地視察を繰り返し、見聞きしたことをできるだけ実行するようにしています。(図5)

おかげで、ノリの漁獲金額は平成11年度を100とすると、平成12年度が192、13年度が209となりました。(図6)

〔男女共同参画について〕

ノリの仕事は女性にとってきついものです。その上に、家に帰ると家事が待っています。でも、うちは少し違います。

主人は、短気で怒りっぽいのが欠点ですが、中高と全寮制の学校を出たおかげで自分のことは大抵自分でやってくれます。掃除の不得意な私に代わり、良く掃除をしてくれますし、花より団子の私に見かねて、庭の花などをよく植えてくれます。ワイシャツのアイロンがけはプロ級の腕前です。そして、「いつあんたが死んでも困らんよ。俺ができないのは、子供を産むことだけだ。」と笑わせます。こんな夫に、恥ずかしいので普段はあまり言いませんが、いつも感謝しています。

我が家では、仕事はほとんど2人で一緒にすることが多いので、研修などにはなるべく2人で出席し、勉強しています。同じ1つのことでも、2人いれば、それぞれ違う捉え方・意見があり、良いと思います。

〔ノリ養殖で毎週休日を〕

我が家のノリ経営で大切な事に触れたいと思います。

ノリ養殖が始まったある時、浜で同業者の方が、「もう一ヶ月も休まずに仕事をしているから体がきつい。」と言われたことがありました。

しかし、我が家では、1週間に一日、土曜日にどんなに忙しい時でも家族全員が仕事を休みます。それは、キリスト教の礼拝に出席するためです。「1週間に1日も休んで、ようノリの仕事ができますね。」と、同業者の大抵の人は驚かれます。(図7)

聖書の十戒の第4条に「安息日を覚えてこれを聖とせよ。6日の間に働いてあなたの全てのわざをせよ。7日目はあなたの神、主の安息であるから何のわざもしてはならない。」という戒めがあります。これは、私たち人間は、週の6日は働き、7日目は神と一緒に過ごすことで、新しい生氣を取り戻すという意味です。私たちはこれに従って休んでいます。こんな話があります。昔イギリスでは9日とか10日に1回の休みだったそうです。特に紡

續業は盛んだったので休まず働かせました。ところが、織っていく製品の傷物が多くなりました。これは働かせすぎるからだということになり、6日働いて1日休むようにしたところ、製品のロスがなくなったそうです。このサイクルが、人間の体に一番良いことが実証されたそうです。

1週間に1回休むことのデメリットは、働く6日間は他の同業者よりも少し労働時間が長くなることです。長くなると言っても1日1時間程度です。週1回休んでいるからといって、赤ぐされ病などで、我が家だけが壊滅的な被害を受けたことはありません。

一方、メリットは2つあります。第1に、仕事にメリハリができ、計画を立てやすいことです。例えば、金曜日は明日が休みだからということで、仕事を頑張ることができずし、ダラダラと仕事をすることがありません。第2に、土曜日には仕事から完全に解放されるので、肉体的な疲労だけではなく、精神的な疲労が取り去られ、リフレッシュできます。リフレッシュして余裕ができると、人間は物の考え方や視野が広がるそうです。次の日からまた仕事に意欲的に取りかかることができます。水揚げ金額についても、常に平均、またはそれ以上で、同業者の方から「1週間に1日休んでも水揚げには影響がないんだなー。」と言われるほどです。(図8)

5 波及効果

波及効果としてあげられるのは、同じ地区の同業者に少し変化が出てきたことです。私たちが週1日必ず休むので、同業者も土曜日を全く休むということではありませんが、単なる見回りまたは軽い作業で仕事を終える事が多くなったようです。

6 今後の課題と問題点

ノリの仕事は女性にとって大変きついものですが、天気の良い日はとても気持ち良く、波しぶきのマイナスイオンを浴びて、風邪をひきやすかった私の体質も次第に変えられ、今では少々のことではびくともしなくなりました。

また、ノリの生長・収穫の喜びは以前の仕事では味わえないものです。ノリは正直で、手をかけただけその成果が出る仕事です。嫁いだ頃に比べると、ノリ養殖は、順次機械化されてきましたが、これからは年々年をとって来るので、さらに機械化して作業しやすくしていきたいと思います。

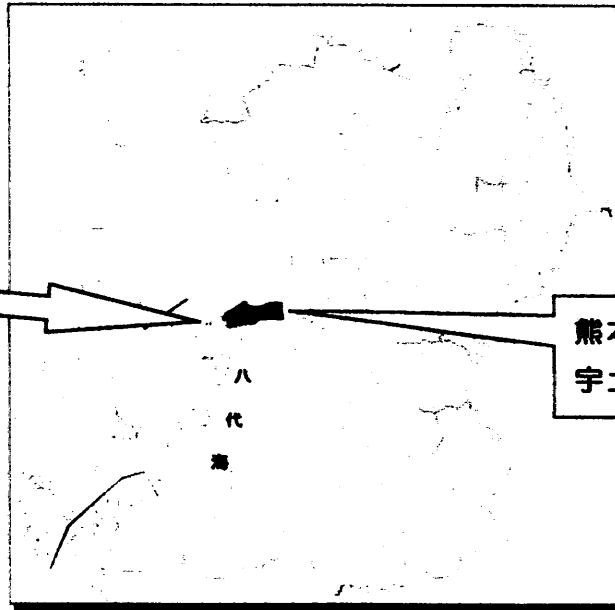
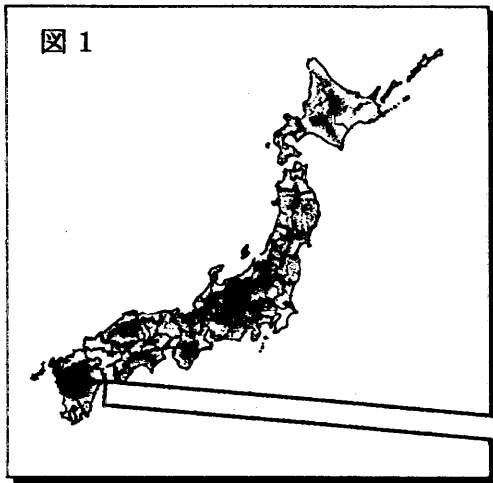
不知火海でも機械化を進め、新しい養殖技術を導入し、細かい管理を行えば、有明海のノリに近づけることがわかりました。今、考えると、ノリをとれないように、とれないように自分たちがしてきた所があったようです。これまでは、1枚でも多くとろうという枚数重視の姿勢でしたが、これからは品質重視のノリづくりをしていきたいと思います。

ノリづくりは、夫婦が一日中呼吸を合わせて仕事をしていかなければなりません。お互い相手の立場を理解し合い、助け合い、夫婦仲良くやっていきたいと思います。

今、漁業では、月1回の第2土曜日の休漁日でさえ守られていないのが現状のように思います。ノリづくりでは、伸びすぎてすぐちぎらないといけない時や、赤腐れ病ですぐ対策を講じなければならぬ場合もありますが、その2,3日前には、大抵予想がつくことが多いので、日頃から手入れを充分にしていれば切り抜けられます。

これからも週1回休むことで心と体をうまくリフレッシュしながら、仕事を続けていきたいと思います。また、このように労働条件を改善していくことが、これからの後継者づくりや嫁不足の問題を解決する糸口となるのではないのでしょうか。

最後に…。ノリ養殖をされている皆さん、週1日仕事を休んでリフレッシュしてみませんか？ きっと、想像を絶する効果がありますよ。



熊本県
宇土郡三角町

図 2

キリスト教、 ・・・そして夫との出会い

キリスト教に出会う



信仰をもつように



キリスト教関係出版会社に

そこで・・・

出会い
結婚



ノリ漁家へ

図 3

実践活動の状況及び成果 ノリ養殖で苦しかったこと

ノリ養殖は長時間労働

➡ 非常につらかった

海に出て間もない頃の事件

後悔の日々

- ① 危うく溺れそうに！
- ② 突風にあおられた！
- ③ 霧で方向がわからない！

図 4

収量増加の努力

我が家の経営について・・・

嫁いできた頃はノリだけでは生活できなかった...

有明海では、1 軒が数千万円の水揚げ 夢のような数字

不知火海では有明海のようにはいかない

半ばあきらめていた

図 5

そんな時・・・

全自動ノリ乾燥機を導入

➡ 海に労力をかけられる

ノリ摘採船を導入

支柱の竹をコンポーズに

経営が上向きに！

網の枚数を増加

最近は... 2人で先進地視察にも

図 6

ノリ漁獲金額の推移

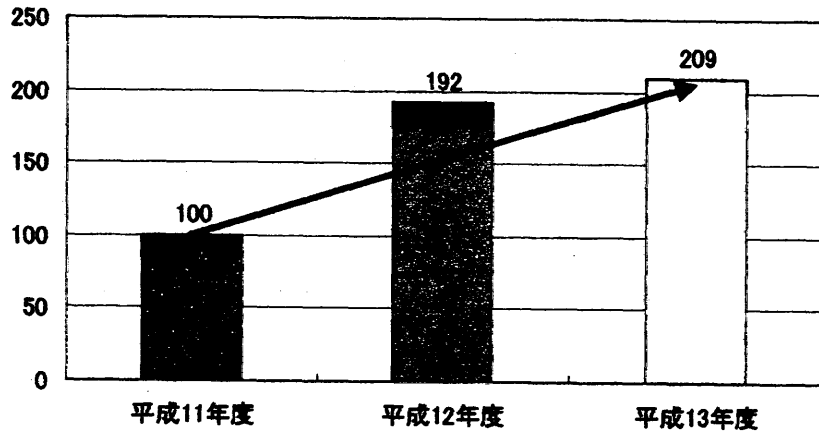


図 7

ノリ養殖で毎週休日を

ノリ養殖の常識



1ヶ月休みなし

我が家は週1日必ず休む



キリスト教の礼拝のため

図 8

週1回休むことは・・・

デメリット



6日は長時間労働に

メリット



①仕事にメリハリ・計画立てやすい



②肉体的・精神的にリフレッシュ!

視野が広がる